

三条別院のご案内

真宗大谷派三条別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三条別院に想う

▲五月二十九日に宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要三条教区お待ち受け大会が開催され二〇二三年の本山における本法要に向けての準備も始まってまいりました。今回は慶讃法要実行委員であり、報恩講実行委員でもある大溪文祥さんに執筆をお願いしました。

二〇二二年五月二十九日、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要三条教区お待ち受け大会が三条別院にて厳修されました。今回のお待ち受け大会ではスタッフとして参加させていただき、当日は帰敬式を担当させていただきました。お待ち受け大会では三十九名のご門徒が受式されましたが、受式前の緊張した表情と受式後の写真撮影での笑顔がとても印象に残る帰敬式となりました。

お待ち受け大会でもスタッフとして参加させていただきましたが、毎年執り行われている三条別院お取り越し報恩講では、教化部会の一員として参加しています。

お取り越し報恩講をお迎えするにあたり、教化部会は法話講師の選定、ポスター・パンフレットの作成、シアターサンジヨゴボーの演目決めなどを受け持っていますが、お取り越し報恩講の当日に私が担当するのは本堂内での司会進行です。参拝者とその日の日程をお知らせするのはもちろんのこと、参拝者から法要について質問を受けるなど多くのご門徒さんから話しかけられる立場でもあります。

二〇二〇年のお取り越し報恩講は日本中があらゆる行事を中止するなか、殆ど内勤めと言っているほど参拝者が限られたなかで勤まったことが今でも思い出されます。毎年賑わうお土産売り場もなく、お斎もお弁当で人との間隔を開けて黙食で済ませるなど、多くの参拝者をお迎えして勤まるのが当たり前のことと思っていた私にはとても寂しく感じました。翌年には、一部制限があったものの団体参拝やお土産売り場などが再開され、少しずつではあるが活気が戻ってきました。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、家にいながらパソコンなどの画面を通じて会議に参加できたり、今回のお待ち受け大会や昨年の

お取り越し報恩講でもそうであるが、直接足を運ぶことができなくてもリアルタイムで配信される動画を視聴することで参加できるようになりましたが、直接足を運ぶことで私自身がとても大切な時間を戴いていたことにあらためて気付かされたように思えます。

お取り越し報恩講は一年間のうちのたった四日間でしかありませんが、その期間中に教化部会の仲間だけでなく、先輩や後輩、参拝されているご門徒さんと話をする時間を戴いていたことに感謝しつつ、今年もお取り越し報恩講の準備に取り掛かろうと思います。

大溪 文祥氏（第二十四組榮行寺住職）



【慶讃お待ち受け大会で帰敬式を執行する大谷裕新門】

▲本年度のお取り越し報恩講について

なお、本年二〇二三年十一月五日(土)から八日(火)のお取り越し報恩講の講師及び基本日程が決定しております。十一月五日の待ち受け音楽法要・初速夜から八日結願日中まで全十座の法要は例年とほぼ同日程となっております。六日から八日までは本山鍵役が御参修予定です。

法話講師は五日、六日は**青木玲氏**(九州大谷短期大学准教授、七日、八日は**広陵兼純氏**(能登教区満覚寺、節談説教)です。昨年より団体参拝の受入れも再開しましたので、ぜひ各組でご計画いただければ幸いです。なお、本年は第十七組、第十八組、第二十組、第二十二組を職員巡回させていただく予定です。



【青木玲氏】

○次回の「三条別院に想う」は、

石塚 亜里氏 (第十五組 長泉寺坊守)

よりご執筆いただきます

▲次回は教区坊守会副会長で慶讃法要実行委員の石塚氏より執筆いただきます。

宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、今月のお速夜法要は、教区会開催の都合上、三十分早い午後一時よりお勤めいたします。

- ◆日 時 七月二十八日(木) 午前十時より
- ◆会場 三条別院 本堂
- ◆お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讃 洵五

和 讃 回口 次第六首

回 向 願 願以此功德

◎今月の法話講師

田村 大輔氏 (第二十組専念寺)

御文五帖目 八通「五劫思惟」

▲本年も身近な御聖教である『御文』五帖目について継続して、聞いていきます。

◆今後の講師一覧

八月 佐々木祐玄氏 (第十五組光善寺)

九月 佐々木憲雄氏 (第十五組光善寺)

十月 八田裕治氏、八田摩矢子氏 (第十七組浄福寺)

(第十七組浄福寺)

十一月 倉井光弥氏 (第十一組養泉寺)

十二月 北島栄誠氏 (第十一組長福寺)

定例法話会

毎月十三日の闍如上人のご命日の定例法話会を宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃お待ち受け事業として開催して参りましたが五月でいったん終了し、次年度に改めて計画しております。七月は六月に引続き平常の日程となります。

◆今月の講師

井上 円氏 (高田教区 浄泉寺住職)

聞思学場室長

- ◆日 時 七月十三日(水)
- 午後一時三十分より (二時間程度)

有志の会庭講演活動報告

五月二十九日(日)慶讃お待ち受け大会の記念植樹式にて、新門様とともに土入れ、奉水を行いました。新門様が将来また三条別院に来院された際に、成長した二本のハナミズキを見て、当時の事を思い出していただければと思っております。



六月十三日(月)に除草作業・剪定作業・消毒殺虫剤散布を行いました。

来月は、庭作業と庭講研修(庭園巡り)を行う予定です。



【大谷裕新門の土入れに引き続き庭講員による奉水が行われた】

その他の講座案内

条幅教室が開催されました

「東友会」ですが、有段者も生まれはじめ、条幅（大型の半紙）での作品を書く機会も増えてきました。今回は先生からの提案で、「初歩の条幅教室」を開催し、文字をどのように大きな紙に収めるか、字数の配分や名前の書き方等、基本を学びました。生徒の他、一般の参加者もあり、午前の部（写真下）、午後の部併せて十三名が集まりました。平時の稽古は毎月二回開催しております。生徒を募集中ですので、ぜひご参加ください。



フードバンクを継続中

会場募集①フードドライブ（寄付食品の収集）

ご門徒さまや地域コミュニティ、近所の食品企業等に、チラシやポスターなどで広報し、フードパントリー実施に合わせた食品提供のご協力を周知。協力者にはフードパントリー当日の午前中や開催時間帯に会場に持ち込みを依頼。寺院さまには、当会からのぼり旗や竿・注水台セットやチラシ・ポスター、回収コンテナ等をご提供いたします。集まった食品は、フードパントリー当日に配布するとともに、余った食品は当会にて持ち帰ります。

会場募集②フードパントリー（食品お渡し会）

寺院さまの境内や駐車場を月に一回四時間程度（正午十二時～午後四時）お借りし、約六十世帯のひとり親家庭の子どもと家族が来場して食品を受け取ります。当日の周知や予約は当会で管理します。全体の統括を当会が行い、運営ボランティアスタッフが、登録するひとり親家庭の子どもと家族が担います。寺院さまには、天候によりお部屋をお借りしたり、スタッフや来場者にトイレをお貸し願います。

◎連絡先 新潟県フードバンク連絡協議会 事務局 担当：小林淳（090-8743-7838）

〒955-0861 新潟県三条市北新保1-20-18

TEL&FAX 0256-34-8960

Eメール info@nigata-fblc.org

―六月の別院でのフードドライブに

ご協力いただいた御寺院・御徒―

第二十三組慶誓寺 佐渡組門徒

その他匿名含め多くの方々にご協力いただき御

礼申し上げます。次回引き取り予定日は七月二

十五日（月）です。

○別院声明教室

〔月一回〕 次回は八月から再開いたします。

○別院書道教室 **(生徒募集中!)**

〔月二回第一、第四水曜日、午後六時二十分〜八時〕

講師 木原光威氏 (新潟県書道協合理事)

月謝 三,一〇〇円 (テキスト代含む)

随 時 募 集 中

○有志の会座講「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか？

○有志の会花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊(絵像)をお迎えして、聞法会を開催しませんか？

○別院奉仕研修について

六月二十日、三条教区第十組の真宗講座の第三回の研修会で三条別院にて研修を行っていただきました。従来は一泊二日の日程で行っておりましたが、本年は一日研修で諸殿拝観(歴史の説明と本堂・旧御堂・書院の案内)、お内仏のお給仕を列座が担当させていただきました。新型コロナウイルスの影響で、団体参拝や奉仕研修が激減していますが、今回も初めて参詣される方が多数いらっしゃり、「別院」という名前は聞いていたが、はじめて分かったと感想をいただきました。半日の奉仕研修等にも対応しておりますので、ぜひお気軽に奉仕団を組んでみてください。



【お内仏のお給仕の時間。仏具の説明と具体的な荘厳の方法。】

【奉仕研修眞加金】

一人あたり半日(午前または午後) 五百円、一日千円
一泊二日は上記の眞加金に順じて半日五百円で計算する。

【その他実費でいただくもの】

①講師謝礼。なお、列座によるお内仏のお給仕・法話は研修眞加金に含まれる。②シーツ等クリーニング代千円

③食事代(ご要領等)ございましたらご相談承ります。

◆◆編集後記◆◆

五月二十九日の教区慶讃お待ち受け大会に続き、六月の四日と五日には御坊市。十八日には三条教区第十組の真宗講座と、六月は以前の状況に戻りつつあることを強く感じることでできる月であった。いまだコロナ禍であり油断こそできないが、感染症対策をとることで各地で人を集めた大きなイベント等が開催できる機会が増え、夜の本寺小路にも少しづつ人出を感じるようになってきた。

この二年半、法要・法話会の開催と非常に苦勞し悩みつつ、そんな中で出来る事をしようとフードバンク事業への協力等に取り組み続けてきた。そんなコロナ禍のなかであるから、「利他」というキーワードがあらためて注目されるようになったのは必然であったのではなからうかと思う。伊藤亜紗氏が共著『利他』とは何かのなかで、「災害ユートピア」という言葉を取り上げ、災害の混乱のなか人々が利己的になるどころか、むしろ見知らぬ人のために行動するユートピア的な状況を語られていた。まさにコロナ禍が始まった二〇二〇年二月に立ち上げられた東京工業大学「未来の人類研究センター」での「利他プロジェクト」。六月二十五日には三条別院公開講座にて利他プロジェクトのリーダーで政治学者の中島岳志氏にこの二年半の成果を親鸞聖人の「他力」を通して講演いただく。自分がしてきたことの二年半とこれからについて、あらためて問うていきたい。

(松浦)